

平成 30 年度 東京都地域活動に関する検討会（第 2 回）

事前アンケート 集計結果

＜防災・災害時の取組について＞

東京都生活文化局
平成 30 年 11 月

1 発災時に備えた区市町村等との約束(協定など)

- ◇ 協定を締結している・・・・・・・・・・ 22件
- ◇ 協定を締結していない・・・・・・・・・・ 8件

～主な締結内容～

○ 災害時の避難に関すること

- ・ 高齢者福祉施設の入所者避難を支援
- ・ 要支援者名簿を災害時に防災関連機関へ情報提供
- ・ 近隣マンションへ水害時の避難場所としての協力を依頼

○ 避難所を開設・運営すること

- ・ 小中学校、神社等の施設・場所を避難所とする
(神社は井戸水が利用可能)
- ・ 学校単位での避難所運営協議会を運営
- ・ 区内スポーツ施設が災害時に施設の一部を提供
- ・ 大学と連携
- ・ 災害時に食料を提供
- ・ 避難所での炊き出し実施
- ・ 避難所運営訓練に病院、介護施設、事業者が参加
- ・ 市施設や防災倉庫の鍵の管理

○ **公園施設の利用に関すること**

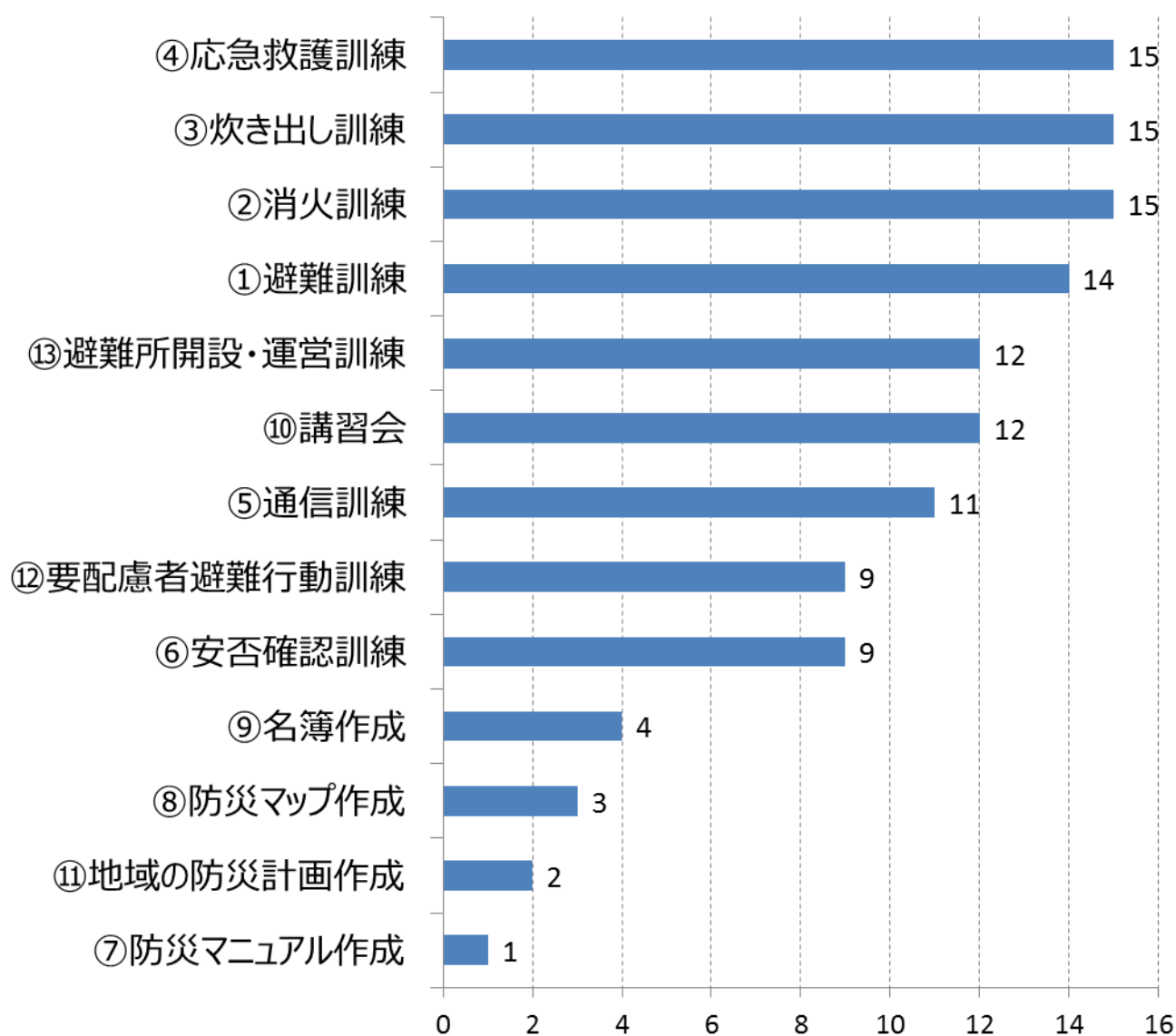
- ・ かまどベンチ、マンホールトイレ等の利用

○ **地域と連携した訓練を行うこと**

- ・ 商店街や小中学校と連携した訓練実施
- ・ 消防署と連携した防火防災啓発、まちかど防災訓練の普及徹底

2 町会・自治会連合会で実施する防災訓練の内容

※複数回答可



※上記のほか、地区連合会等で実施している防災訓練についても回答があった。

<具体的な訓練>

○ 災害を疑似体験する訓練

- ・ 煙体験
- ・ 起震車体験

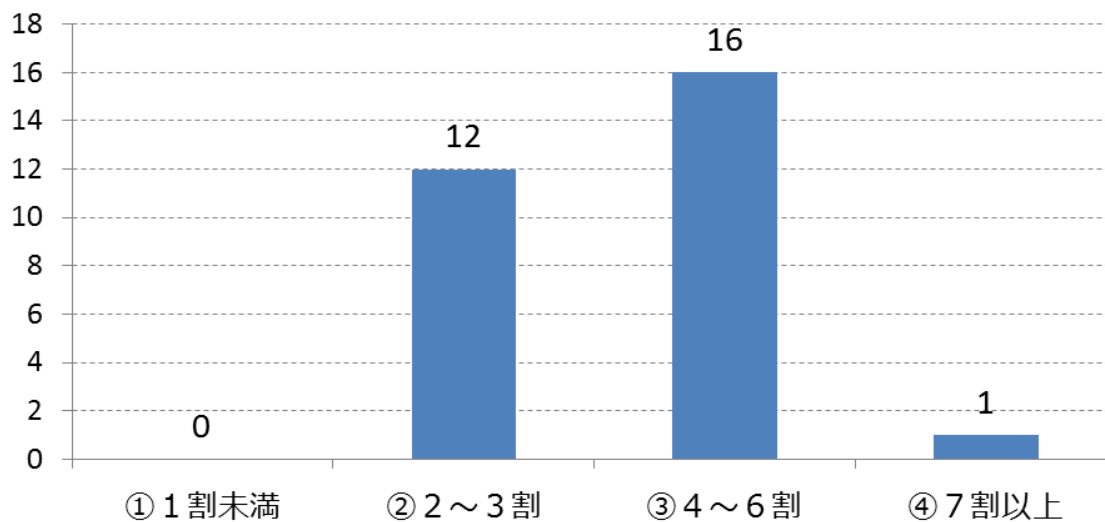
○ 避難所に関する訓練

- ・ 避難所開設訓練
- ・ H U G（避難所運営ゲーム）訓練
- ・ 仮設トイレ組立て訓練
- ・ 物資配布訓練
- ・ ダンボールベットの組立作成

○ デモンストレーション等

- ・ 消防・警察の特殊車両展示・デモ
- ・ 家具転倒防止展示・デモ
- ・ 地域防災無線の通信
- ・ 夜間防災訓練

3 防災活動に参加する女性



～ 女性が担当している内容 ～

- ・炊き出し訓練
- ・避難誘導ワークショップ
- ・消防組織に女性の消火隊を編成
- ・女性目線での防災力向上（「東京くらし防災」の活用）
- ・女性に配慮した避難所運営方法の検討
- ・女性部が訓練を企画
- ・スタンドパイプ等を女性が中心となって訓練
- ・避難所運営本部の各部（物資部、救護衛生部等）は女性が半数
- ・小学生への防災教育（カルタや紙芝居）

4 活動事例

- ・区内町会に初期消火・給水用としてスタンドパイプが配付されている
- ・発災時の伝達手段として、地域限定のFMラジオ局が開設
- ・町会・自治会と行政が中心となり防災塾を実施、地域防災計画を策定
- ・町会・自治会、区立中学校参加による軽可搬ポンプ・バケツリレー消火競技大会を毎年開催。東京消防庁より優良賞を受賞
- ・消防署の協力を得てレスキュー大会を競技形式で実施
- ・自治会所有の非常用発電機を利用し、スマホ充電ステーションを設置
- ・独自に発災時の要援護者の居住地を確認のうえ、リストを作成し居住地を地図に示す
- ・看護師や重機操縦等、災害時に役立つ有資格者のリストを作成、地図に示し地域住民が協力して対応できる体制を作った
- ・水害を想定した広域避難訓練を実施。高台まで徒歩で避難
- ・自治会の要配慮者リストを作成し、要配慮者1名につき2名でサポートする。2ヶ月に1回の割合で見守り活動、声掛け
- ・防災コンクールの開催

5 ご意見

- ・ 高齢者が比較的多いため、若い人たちの参加、協力が必要。中学生レスキュー隊が発足している地域もある。地域を守る牽引者として育成をしてほしい
- ・ 学校が避難所となっているが、施設している。いざという時にすぐ開けられる体制が必要
- ・ 防災士を養成してきている。有効に活用できる組織作りが必要
- ・ 以前、防災隣組活動の褒章制度があったと思う。褒章制度を継続したらよいのでは
- ・ 地域の防災訓練に利活用できる制度等を紹介してほしい
- ・ 今年度、避難所開設マニュアルを作成した。町内会・自治会・自主防災会のほか、市役所、警察署、消防署、学校等幅広く配付して避難所開設訓練を充実させたい
- ・ 戸建てとマンションでは対応策が異なる。マンション部会を設置して対策を検討する予定
- ・ 女性会長の意見を幅広く反映するため、女性部会を予定